

平成29年12月11日
(一社) 日本船用工業会

東京海洋大学において「短艇実習」の講義を実施

当会は、11月24日、東京海洋大学越中島キャンパスにおいて、「船用工業講義」の一環として「短艇実習」を実施した。

本講義は、船上での人命安全に係る救命・消防設備の機能や利用方法に精通した船用業界の専門家の協力を得たいとの依頼を大学より受け、同学の「短艇実習」のうち「消火機器」科目と「救命機器」科目について、昨年度より当会が講義を担当している。

当日は、「消火機器」科目について、日本ドライケミカル株式会社 プラント・特殊防災部 船舶課 課長 林 稔氏が、東京海洋大学の学生約60名（海洋工学部1年生）を対象に講義を行った。

講義では、SOLAS 条約の概要のほか、様々な消火装置や火災探知装置等について実際の使用状況の映像を上映しながら説明を行った。入学1年目の学生にとっては、初めて見聞きする装置であり、今後の乗船実習等にも役立つことが期待される。

次回は、12月15日に株式会社ケイアンドケイ 加藤 欽也氏が「救命機器」科目について講義を行う予定である。



講義の風景

以上